

● 便益施設(トイレ)の配置・規模の考え方

● 配置の考え方

- 高水敷への設置は浸水時における維持管理上の課題が多く困難であるため、堤防上への設置を検討する。
- できる限り駐車スペースに近く、各エリアから利用できるように一定間隔で配置することとする。
- 右岸保津川下り乗船場周辺および左岸保津浄化センター周辺については、隣接の公共施設の状態をふまえた上で検討する。

● 規模の考え方

● 算定にあたって

- 本計画地と立地条件および規模が類似している亀岡運動公園を類似公園として想定し、算定を行った。

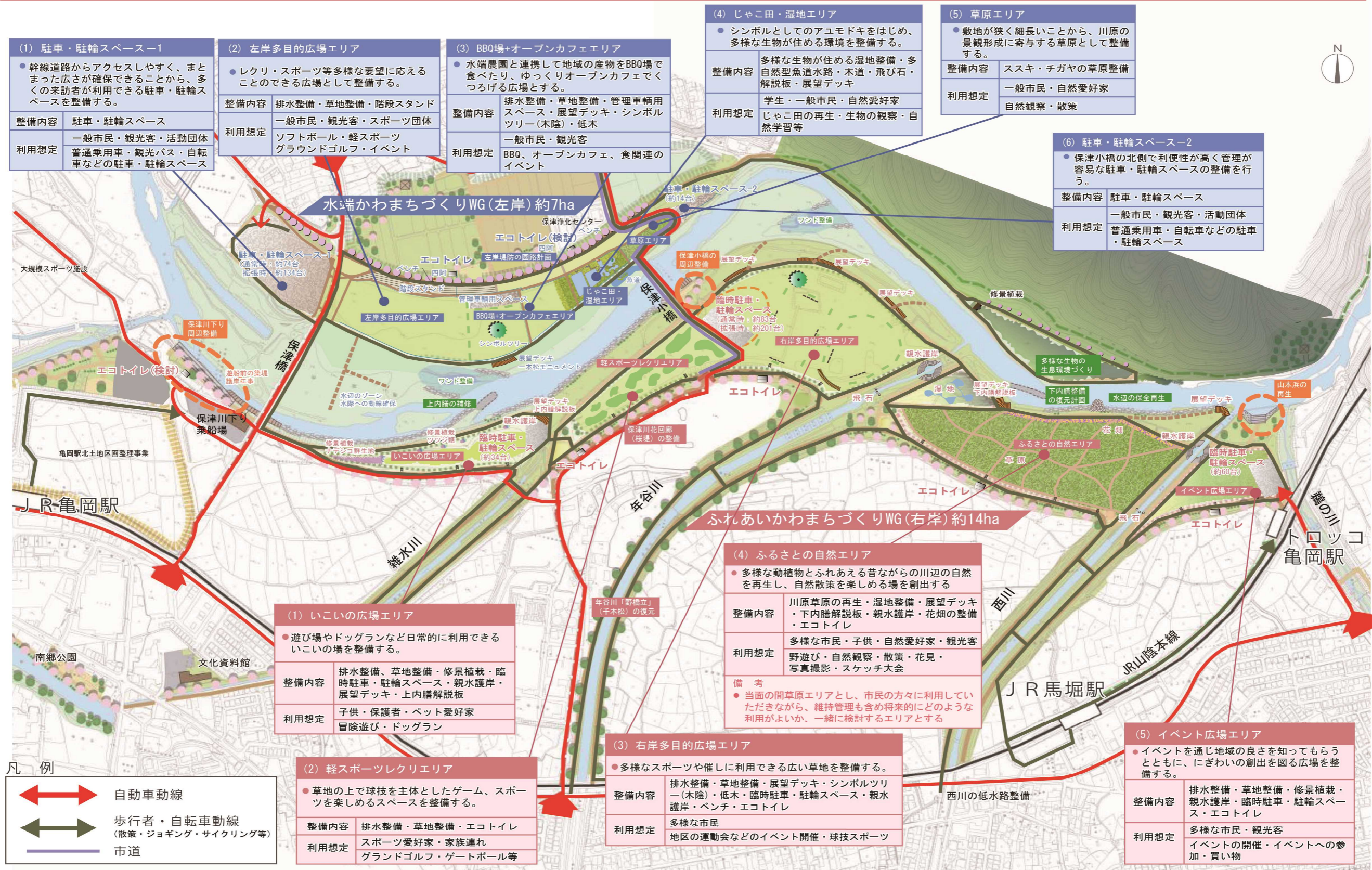
● 便益施設の規模の算定

● 必要便器数：9穴

- 必要便器数=同時滞在者数(回転率1/2~1/3)×便所利用率(1/80~1/30より1/50とした)
=1,107人^{※1}×1/2.5×1/50=8.86≒9穴(男女共)となる。
- 本計画地では7箇所(5箇所は新設、2箇所は検討)の設置を予定しているため、必要最低限の規模の便所を各所に設置する。
- なお、大規模イベント時など臨時でトイレが必要な場合は、イベント主催者などの運営組織が仮設トイレを設置して対応する。
※1…「駐車・駐輪スペースの配置・規模の考え方」のピーク時の利用者数

● 1基当たりの必要最低限の便器設置穴数：5穴

- 男子：2穴(大1穴、小0.5×2穴)、女子：2穴
障がい者用(多機能型)：1穴



凡例

	自動車動線
	歩行者・自転車動線 (散策・ジョギング・サイクリング等)
	市道

(1) いこいの広場エリア

- 遊び場やドッグランなど日常的に利用できるいこいの場を整備する。

整備内容	排水整備・草地整備・修景植栽・臨時駐輪・駐輪スペース・親水護岸・展望デッキ・上内膳解説板
利用想定	子供・保護者・ペット愛好家 冒険遊び・ドッグラン

(2) 軽スポーツレクリエーションエリア

- 草地の上で球技を主体としたゲーム、スポーツを楽しめるスペースを整備する。

整備内容	排水整備・草地整備・エコトイレ
利用想定	スポーツ愛好家・家族連れ グラウンドゴルフ・ゲートボール等

(3) 右岸多目的広場エリア

- 多様なスポーツや催しに利用できる広い草地を整備する。

整備内容	排水整備・草地整備・展望デッキ・シンボルツリー(木陰)・低木・臨時駐輪・駐輪スペース・親水護岸・ベンチ・エコトイレ
利用想定	多様な市民 地区の運動会などのイベント開催・球技スポーツ

(4) ふれあいかわまちづくりWG(右岸)約14ha

- 多様な動植物とふれあえる昔ながらの川辺の自然を再生し、自然散策を楽しめる場を創出する

整備内容	川原草原の再生・湿地整備・展望デッキ・下内膳解説板・親水護岸・花畑の整備・エコトイレ
利用想定	多様な市民・子供・自然愛好家・観光客 野遊び・自然観察・散策・花見・写真撮影・スケッチ大会
備考	● 当面の間草原エリアとし、市民の方々に利用していただきながら、維持管理も含め将来的にどのような利用がよいか、一緒に検討するエリアとする

(5) イベント広場エリア

- イベントを通じ地域の良さを知ってもらうとともに、にぎわいの創出を図る広場を整備する。

整備内容	排水整備・草地整備・修景植栽・親水護岸・臨時駐輪・駐輪スペース・エコトイレ
利用想定	多様な市民・観光客 イベントの開催・イベントへの参加・買い物